



リモコンによる無人化施工する妙高関山地区の現場

高所法面掘削工法

林野庁工事などで採用

大昌建設

大昌建設(株) (本社・千葉県長生郡長生村金田2695) が設計・開発した高所法面掘削機による掘削工法が県内の法面工事の現場で活躍している。今冬の小雪の影響で、5月の雪解け早々に着工となった林野庁の清津峡(大松沢地区)、松之山

(音沢地区)等の工事現場で採用された。また、妙高関山地区においては、ほぼ直壁に近い既設コンクリート切り崩し作業をリモートコントロール工法で行なうなど、威力を發揮している。同工法は、高所法面掘削機(ロッククライミン

グマシーン)を用いて高所法面の切り取り、切り崩し、掘削、抜根、整形、危険度の高い高所作業を、人力に代わり、迅速かつ安全に施工できるのが特長。作業は、高所法面掘削機と斜面上部に設置したアンカーをワイヤーロー

プで確実に固定して行う。足元が崩れても十分な安全率の主ワイヤーで支えているため、掘削機は安全に作業できる。

同工法は、国土交通省の新技术登録 (No. KT-010076) を行っており、全国の現場で施工実績がある。

同工法の詳細は、同社のホームページ (<http://www.taisyo-kt.com/>) に掲載。問い合わせは 0475-32-0077まで。